

掴め君の未来を！

慶進中学校・高等学校
進学指導部
令和3年4月7日発行

4月号

令和3年度入試合格状況（3月31日現在）

国公立大学77名

【国公立大学】

北海道大学 総合理系学部1名
 千葉大学 国際教養学部1名
 東京農工大学 農学部1名
 名古屋工業大学 工学部1名
 京都大学 文学部1名
 岡山大学 医学部（保健）1名 工学部2名
 広島大学 医学部（医）1名 理学部1名
 工学部1名 総合科学部1名
 山口大学 医学部（医2名 保健2名）人文学部1名
 教育学部3名 経済学部2名 理学部1名
 国際総合科学部1名 農学部1名
 工学部4名
 九州大学 法学部1名 農学部1名 工学部2名
 九州工業大学 情報工学部1名
 佐賀大学 農学部1名
 長崎大学 情報データ科学部1名
 熊本大学 工学部1名
 大分大学 経済学部1名 医学部（看護）1名
 宮崎大学 工学部1名
 鹿児島大学 医学部（保健）1名
 長岡造形大学 造形学部1名
 福知山公立大学 地域経営学部1名
 京都府立医科大学 医学部（看護）1名
 大阪府立大学 工学部1名
 県立広島大学 保健福祉学部2名
 山口東京理科大学 薬学部5名 工学部5名
 下関市立大学 経済学部3名
 山口県立大学 国際文化学部1名 看護栄養学部5名
 北九州市立大学 文学部1名 経済学部4名
 九州歯科大学 歯学部1名
 長崎県立大学 地域創造学部1名
 防衛医科大学校 医学部（医）1名
 防衛大学校 理工学専攻2名
 水産大学校 海洋機械工学科1名

【私立大学】抜粋

自治医科大学 医学部（医）1名
 青山学院大学 社会情報・総合文化政策学部2名
 学習院大学 国際社会科学部1名
 北里大学 獣医学部1名
 駒澤大学 経済学部1名
 芝浦工業大学 システム理工・工学部2名
 専修大学 文学部1名
 東海大学 理・工・情報通信学部4名
 東京薬科大学 薬学部1名
 東京理科大学 薬学部1名
 日本大学 商・生物資源科学部（獣医）1名
 法政大学 文・現代福祉・理工学部3名
 星薬科大学 薬学部1名
 明治大学 文・法・農学部3名
 立教大学 異文化コミュニケーション・現代心理・社会学部3名
 早稲田大学 教育・商学部2名
 京都外国語大学 外国語学部1名
 同志社大学 文・法・文化情報・心理・理工学部8名
 立命館大学 文・経営・法・理工学部12名
 関西大学 法・経済・化学生命工学部5名
 関西医科大学 リハビリテーション学部1名
 関西外国語大学 外国語学部1名
 近畿大学 経営・建築・農・工学部10名
 関西学院大学 文・法・社会・理学部4名
 岡山理科大学 獣医・理・工学部9名
 川崎医療福祉大学 医療技術学部1名
 広島修道大学 人文・経済科・健康科・国際コミュニティ学部7名
 福山大学 薬学部2名
 広島国際大学 薬・保健医療・健康科・総合リハビリ学部11名
 山口学芸大学 教育学部8名
 九州産業大学 経済・商学部5名
 西南学院大学 法・商・人間科・国際文化学部7名
 西南女学院大学 保健福祉学部2名
 福岡大学 医（医）・薬・法・人文・経済・商・工学部21名
 第一薬科大学 薬学部1名
 久留米大学 医（医）・文・法・商学部11名

おめでとう
ございます

共通テストまであと284日……どのように対策していこう？

～ 令和2年度共通テストの傾向と今後の対策 公民・物理・化学・生物・地学編 ～
（2・3月号の続き）

【公民】

◎現代社会

時事問題は少なく、細かな学習が必要とされる事項も含まれる。倫理分野の出題は少なく、主として政治・経済分野で制度の内容や確立の背景・流れを問う問題が多く出題されており、その傾向は今後も続くものと考えられる。

現代社会は、一般常識で解けるという印象を持たれがちだが、出題される分野は様々で、細かく学習しなければ対応できない問題や、学習した事項をもとに思考させる問題が出題されている。一般常識だけではどうにもならない。「教科書の学習」「本番を想定した問題に取り組む」「時事への対応」の3本柱が必要である。現代社会を得意科目にすることで幅広い常識が養われ、他の科目や、推薦、総合型選抜を含めた小論文などにも通用する学力を育成することができる。

◎倫理

従来のセンター試験と内容的に大きな変化はない。小問は減少したが、新しいタイプの問題に時間がかかるので、全体的に少なくなったとはいえない。知識がなくても思考力で解ける設問も多かった。世界史や日本史に比べて負担が少ないと考え選択する受験生もいるが、倫理で学ぶ内容は、**普段の生活ではあまり考えることのない思想や哲学が中心**となっており、きわめて難解な現代思想分野からの出題もある。安易な選択をして真面目に学習しなければ、高得点は望めない。

◎政治・経済

論理的思考力を問う姿勢が顕著。問題のテーマは基本的であるが、単に知識を使うだけでは解答を出すのは難しく、複数の知識を組み合わせて解答し、論理的に思考して粘り強く解答にたどり着くことが求められている。

出題の特徴は、各設問中に長・短の文章を設け、文章内容の把握力・要約力を問う設問や、関連性・因果関係を判断させる設問が見られること、また、空欄問題において、当てはめるものが、語句だけでなく文章など多岐にわたり、しかも複数の空欄すべてを適切に埋めることで正解になるので、断片的・部分的理解では得点できない仕組みになっていることである。**教科書を読むことで歴史的つながりと地理的広がりを理解し、それらに加えて人間社会の現象（文化的・宗教的あるいは倫理的な側面）の理解が必要である。**

◎倫理、政治・経済

すべて「倫理」、「政治・経済」と共通の問題。特徴としては、まず、各設問中に長・短の文章を設け、文章内容の把握力・要約力を問う設問や、関連性・因果関係を判断させる設問が見られる。したがって、文章を多く読み内容を早く掴める力が必要になる。**普段から文章を読みこなし、早く内容を理解するよう訓練が必要。**また、空欄問題において、空欄に当てはめるものが、語句だけでなく文章など多岐にわたっている上に複数の空欄すべてを適切に埋めることで正解になるので、断片的・部分的理解では得点できない。

【理科（専門）】

◎物理

センター試験から共通テストに移行して選択問題が廃止され、原子物理の問題は必答となった。法則を用いて計算し結論を得る問題が減少し、物理概念や現象への基礎的理解を問う問題が大幅に増加した。問題文で与えられた現象の説明やグラフから解答に必要な情報を見出し、物理法則を用いて正しく結論を導き出す能力が問われる問題が出題された。一方で過去のセンター試験でもよく見られたグラフを選択する問題や組合せ問題なども出題された。

共通テストでも、センター試験のように、図やグラフを利用して考察させたり、短文の正誤を判断させたりする問題が出題されている。対策として、**普段から問題の答えだけでなくそれに関係する周辺知識も考察する習慣を身につけることが重要である。**

◎化学

センター試験と類似した出題だが、適切な有効数字2桁の数値を一つずつマークする形式や方眼紙を与えて考えさせる設問など、思考力を問う設問も見られた。

センター試験と比べて「考えて解く」問題の割合が増加している。具体的には、リード文を読み、図やグラフ、表なども含めた必要な情報を用いて解答を導くような問題が出題されている。普段から丸暗記のような表面的な学習ではなく、**各分野の根本的な部分を理解しながら学習を進めるように心がけよう。センター試験の過去問演習も積むことが重要である。**まず理論化学の分野をしっかり理解し、その土台の上に無機化学や有機化学の学習を進めよう。

◎生物

実験考察問題が大幅に増加したが、設問数、選択肢の数が減少した。各大問は、単一の単元からの出題だけではなく、複数の単元からなる総合問題となるものが大半であるため、教科書の内容をすべて終わらせ、早めの対策が必要である。

大きく知識問題と考察問題からなるが、**知識問題で単純に生物用語を問うものではなく、生物用語を理解しているかを問う問題が出題される。単純な用語を問う問題よりも難度は高くなる。考察問題は、リード文の理解、実験データの読み方、実験計画、計算など多岐に渡り、得点差がはっきり出る。また、会話文の出題もあり、その中でどのようなディスカッションが行われているのか理解しないと解けない。**

◎地学

教科書の基本事項を丹念に学習することと、標準レベルの問題を多く演習することに加えて、分野総合的な学習が求められる出題である。出題範囲は教科書の範囲に限られるが、暗記で対応できる知識問題よりも基礎事項の正確な理解と応用力、総合力が問われる出題が主である。

共通テストで高得点を得るためには、「教科書」→「問題演習」→「教科書」という流れの学習方法を徹底して、**教科書を徹底理解し、地学の各分野において、どのような観測や観察、実験がされて、そこからどのような考察がされているのか、また、どのような物理法則や化学の知識が用いられているか、理解し、図やグラフを正確に読みとる力をつけよう。**

4月の進学スケジュール

♣4月16（金）・17日（土）

ベネッセ総合学力記述模試（高3）

♣4月17日（土）

I A進学ガイダンス

♣4月23日（金）

小論文模試（高3）

♣4月24日（土）

ベネッセ学力推移調査（中1～3）

小論文講座（高1～3）